令和７年度

歴史資料館年間報告書

Historical　Museum　Report



古賀東中学校「漂着物展示室」

古賀市立歴史資料館

目　次

Ⅰ 令和７年度　事業実績一覧 ..... - 2 -

Ⅱ　事業報告 ..... - 5 -

１．自然史・歴史講座（全３回） ..... - 5 -

■第１回（講演会） ..... - 5 -

■第２回（現地学習）（第 25 回　市民ウォーキング） ..... - 5 -

■第３回（現地学習） ..... - 6 -

２．展示 ..... - 7 -

■企画展 ..... - 7 -

■船原古墳パネル展 ..... - 8 -

■出張歴史資料館 ..... - 8 -

３．教育普及 ..... - 9 -

■子ども歴史講座（全４回） ..... - 9 -

■れきし体験パスポート ..... - 11 -

■施設見学 ..... - 12 -

Ⅲ　来館者数 ..... - 13 -

Ⅳ　令和８年度　目標及び事業計画 ..... - 14 -

Ⅰ 令和７年度　事業実績一覧

《自然史・歴史講座》

事業名・講師　等	開　催　日	参加者数	内　　容　〔開催場所〕
第１回（講演会） 「戦争を記憶する」 講師：森井　啓次　氏 （九州歴史資料館　企画主幹）	８月 10 日(日)	20 人	【企画展関連事業】 現在に残る戦争遺跡とその保存について 〔交流館　多目的ホール〕
第２回（現地学習） （第 25 回市民ウォーキング） 「古賀海岸しおかぜウォーク」	11 月 22 日(土)	20 人	古賀市史跡案内ボランティアのガイド付きで、古賀西小学校区の史跡を巡る 〔古賀市天神・中央〕
第３回（現地学習） 「戦争遺跡を訪ねるⅡ」	３月６日(金)	17 人	【企画展関連事業】 北九州市にある戦争遺跡や戦争に関する施設を訪れ、見学をする 〔北九州市八幡東区・小倉北区〕
合　　計		57 人	

《展示》

事　業　名		開催日・期間	観覧者数	内　　容　〔開催場所〕
企画展 「戦後８０年特集　戦争とくらし～「青柳村役場兵事関係資料」を中心に～		７月 19 日(土)～ ９月７日(日)	1,830 人	戦争が人々の日常生活に及ぼす影響について身近な資料をもとに、考えてもらう 〔歴史資料館ギャラリー〕
船原古墳パネル展 「古賀の宝　船原古墳の世界」		９月 13 日(土)～ 23 日(火・宿)	219 人	初心者向けの船原古墳紹介パネル展示 〔歴史資料館ギャラリー〕
出張歴史資料館	第 24 回古賀市子ども わくわくフェスタ	11 月 30 日(日)	265 人	昔のあそび体験 〔歴史資料館　中会議室〕
合　　計		2,314 人		

《教育普及》

事業名・講師　等	開　催　日	参加者数	内　　容　〔開催場所〕
第1回 「古賀の遺跡を探検しよう」	6月1日(日)	8人	市内の遺跡をバスでめぐり、現地で見学 〔みあけ史跡公園、古賀グリーンパーク、船原古墳〕
第2回 「杏葉づくり・勾玉づくり」	7月26日(土)	19人	・石こうで杏葉づくり ・滑石で勾玉づくり 〔歴史資料館　中会議室〕
第3回 「縄文土器をつくろう」 講師：香川　義文　氏 （古賀市陶芸同好会代表）	9月28日(土)	14人	縄文土器づくり 〔交流館　102工芸室〕
第4回 「古代食ってなあに？」	11月9日(日)	8人	どんぐりクッキーづくり　など 〔交流館　101調理室〕
合　　計		49人	

事　業　名	期　間	参加者数	内　　容　〔開催場所〕
夏休みれきし体験パスポート	7月19日(土)～ 9月7日(日)	321人	歴史資料館展示物に関する「クイズ」や、けん玉、紙ずもうなどの「むかしのあそび」体験　など 〔歴史資料館展示室・ギャラリー〕
冬休みれきし体験パスポート	12月20日(土)～ 1月12日(月・祝)	54人	
春休みれきし体験パスポート	3月20日(金・祝) ～4月5日(日)	98人	
合　　計		473人	

■団体見学実績一覧

事前申込みで、学校の施設見学・教科学習や一般団体の生涯学習で歴史資料館見学の対応を行った。

	月	団体名	見学者数	内容
1	6月	古賀東小学校2年生	90人	・公共施設の利用と活用方法
2	10月	千鳥小学校2年生	62人	・公共施設の利用と活用方法
3	11月	福岡特別支援学校	38人	・地域の歴史・暮らしを学ぶ
4		緑町老人クラブ 緑寿会	20人	・古賀市の歴史と船原古墳
5	12月	古賀中学校1年生（リーパスウォーク）	275人	・公共施設の利用と活用方法
6	1月	花鶴小学校2年生	85人	・公共施設の利用と活用方法
合　　計			570人	

■実習生受入れ一覧

・なし

《刊行物》

・古賀市郷土読本『わたしたちのこが ～“ふるさと”古賀を知るガイド　改訂第２版』を作成し、発行した。

《所蔵資料整理業務》

・古賀東中学校「民俗資料室」「漂着物展示室」「考古学図書室」の開館に向けた整備を行い、令和８年３月 28 日に開設。

《資料収集整理活動》

・令和７年度の寄贈は 10 件で、全 4,810 点

	内　　容	点数
1	三輪閑水関連資料　ほか	137 点
2	徳利、盃、弁当箱、小物入れ、裁縫箱、くけ台、安全掛針、へら、はさみ　ほか	37 点
3	足踏みミシン、そろばん、銭桝、拍子木、小物入れ、鍵、煙管入れ、煙管　ほか	14 点
4	カメラ関連資料、ワードプロセッサー関係資料　ほか	60 点
5	顕微鏡	1 点
6	ほうき、手鏡、蚊取り線香、かなだらい、大正琴、LP レコード、EP レコード　ほか	40 点
7	カメラ	1 点
8	千人針、日章旗、階級章　ほか	19 点
9	『地獄の原子野に生きて-子・孫・若者に訴える被爆者の声-』	1 点
10	書籍、漂着物	書籍 4,336 点漂着物 164 点



郷土読本　改訂第２版



古賀東中学校「民俗資料室」

Ⅱ　事業報告

１．自然史・歴史講座（全３回）

郷土古賀の自然史・歴史、偉人への興味を高めるとともに、古賀の良さを知ってもらうことを目標とする。

■第１回（講演会）

演　　題：戦争を記憶する～福岡県の戦争遺跡　その保存と活用～
開 催 日：令和７年８月 10 日（日）
会　　場：交流館　多目的ホール
講　　師：森井　啓次　氏
（九州歴史資料館　企画主幹）
参加者数：20 人


講演会の様子

企画展「戦後 80 年特集　戦争とくらし」の関連事業として開催。

九州歴史資料館の森井啓次氏を講師にお迎えし、「戦争を記憶する～福岡県の戦争遺跡その保存と活用～」をテーマにご講演いただいた。

はじめに、市立青柳小学校と市立小野小学校が戦時中に兵舎として使用されていたことから話され、現在に残る戦争遺跡について、写真と地図を用いて説明をされた。続けて、戦争遺跡の保存について、調査により遺跡の価値を知り、それから保存する手法を考えると手順を示された。近現代の遺跡は、「文化財」としての保存のほか、各市町村の歴史の１つとして保存する手法も取られていると説明された。また活用については、保存された遺跡の価値を周知することで、それらの存在を知った人々が、正しい知識を以って学び、そこから何を考えるのか、そういった機会を設けることだと話された。

最後に、過去の歴史を正しく認識し、その教訓を未来にどう活かすのか、考え続けることが大切だとまとめられた。

大雨の中の開催となり、参加者が少なかったのは残念である。講師の先生の日程調整がつかず、延期の判断ができなかった。延期の場合の日程などの調整を事前に行う必要が今後あろう。

■第２回（現地学習）（第 25 回　市民ウォーキング） ※生涯学習推進課との共同事業

テ ー マ：古賀海岸しおかぜウォーク
開 催 日：令和７年 11 月 22 日（土）
コ ー ス：①古賀海岸しおかぜウォーク（6km）
②史跡コース（5km）※古賀市史跡案内ボランティアガイド付
参加者数：①66 人、②20 人（定員 30 人/事前申込）

古賀海岸沿いでウォーキングを実施。「②史跡コース（5km）」は古賀市史跡案内ボランティアのガイド付で、古賀西小学校区の史跡などを紹介しながらゴールをめざした。


古賀橋


伝教大師最澄像


古賀海岸

■第３回（現地学習）

テ ー マ：戦争遺跡を訪ねるⅡ

開 催 日：令和８年３月６日（金）

見 学 先：北九州市（小伊藤山公園、北九州市平和のまちミュージアム、小倉陸軍造兵廠跡）

参加者数：17 人

今年は戦後８０年を迎える節目の年であり、戦争体験者の減少によって薄れつつある戦争の記憶をいかにして継承していくかが大きな課題となっている。現在に残る様々な戦争遺跡は、人々に戦争の記憶を、実感をもって受け止めさせてくれる力がある。

今回は、北九州市に残る戦争遺跡や戦争に関する施設を訪れ、改めて戦争を実感するとともに、平和の大切さとそのための努力の必要性を感じ、どのようにして戦争を知らない世代に継承してゆけばよいかを一人ひとりに考えてもらうことをねらいとし、現地学習を実施した。





小伊藤山公園


北九州市平和のまちミュージアム


勝山公園（平和の鐘など）


小倉陸軍造兵廠跡（大手町公園）

２．展示

郷土古賀に関する歴史や文化財、偉人などに興味をもってもらうことを目標とする。



ポスター

■企画展

テ ー マ：戦後８０年特集　戦争とくらし
～「青柳村役場兵事関係資料」を中心に～」
会　　期：令和７年７月 19 日（土）～9 月 7 日（日）
会　　場：歴史資料館ギャラリー
観覧者数：1,830 人

戦後 80 年にあたる今年の企画展では、「古賀市指定有形文化財」になった「青柳村役場兵事関係資料」を中心に、関連資料や寄贈いただいた資料、解説パネルの展示を行った。

「戦争とくらし」展は、戦後 75 年の令和 2 年度に、「Ⅰ兵士になる」「Ⅱどこで戦い、どこで亡くなったか」「Ⅲ戦時下のくらしの変化」「Ⅳ戦争は何を残したか」の 4 テーマで企画展を開催。以降、テーマⅠ～Ⅲを順番に、特集展示として毎年度継続して開催してきた。

今回は、4 テーマを一拠に、「青柳村役場兵事関係資料」の分析などの新たな内容を加えて展示を行った。また、展示を通して感じたことや考えられたことなどを共有できる場として、「平和へのメッセージ」掲示コーナーを設けた。

8 月 1 日（金）～17 日（日）の期間、中会議室では福祉課事業の「原爆と人間」パネル展が行われた。会場の一部を借りて、令和 5 年度に特集展示で開催した「市民によるギャラリートーク（原爆とラジオゾンデ）」の録画映像を上映した。

さらに 8 月 23 日（土）には企画展関連事業　「朗読　つばめの記～戦時下、父子の往復書簡～」を実施した。








会　　場

令和 5 年度市民による
ギャラリートークの上映

■船原古墳パネル展

◆テ ー マ：古賀の宝　船原古墳の世界

会　　期：令和 7 年 9 月 13 日(土)～23 日(火・祝)

会　　場：歴史資料館ギャラリー

観覧者数：219 人

船原古墳の周知活動の一環として、初心者向けの船原古墳の紹介パネルと、船原古墳 1 号土坑から出土した馬具などを紹介するパネルの展示会を開催した。

今回は、文化力向上事業で市内の小学生が作った「オリジナル杏葉」をメインに展示を行った。





歴史資料館ギャラリー

■出張歴史資料館

市内外で開催されるイベントに出展して、分かりやすく郷土の歴史を発信することを目標とする。

◆第 24 回古賀市子どもわくわくフェスタ　※青少年育成課との共同事業

テ ー マ：むかしのあそび

開 催 日：令和 7 年 11 月 30 日(日)

会　　場：歴史資料館　中会議室

参加者数：265 人



第 24 回古賀市子どもわくわくフェスタに出展をした。「むかしのあそび」をテーマに、けん玉や紙相撲などの合計 5 種類のあそび体験コーナーを設置して、子どもから大人まで自由に体験をしてもらった。

３．教育普及

■子ども歴史講座（全４回）

体験学習を通じて郷土の歴史に興味をもってもらうことを目標とする。

◆第１回　「古賀の遺跡を探検しよう」

開 催 日：令和７年６月１日(日)

見 学 先：鹿部田渕遺跡（現みあけ史跡公園）

馬渡・束ヶ浦遺跡（現古賀グリーンパーク）

船原古墳

参加者数：８人（内訳：小学３年生７人＋中学生１人）+同伴者８人



【事前学習】

「古賀の遺跡」について、資料とパワーポイントを使って説明を行った。今回、見学をする３つの遺跡については、特徴や出土遺物などを具体的に紹介し、現地学習への理解へとつなげた。



【鹿部田渕遺跡】

穴を掘った地面に柱を埋める「掘立柱」で建造された、役所的な建物が見つかったことを説明した。



【馬渡・束ヶ浦遺跡】

青銅器がそろって見つかったことを説明。併せて、グリーンパーク内にある未調査の古墳を見つけるクイズを出題した。



【船原古墳】

船原古墳の土坑の位置や大きさを実際に確認した。また、地元の方から、船原古墳の PR 活動についてお話しいただいた。



【歴史資料館見学】

講座で学習した遺跡の出土品を歴史資料館で見学した。

◆第２回　「杏葉づくり・勾玉づくり」

開 催 日：令和７年７月 26 日（土）

会　　場：歴史資料館　中会議室

参加者数：19 人（内訳：杏葉づくり　９人、勾玉づくり　10 人）

「杏葉づくり」

古賀市唯一の前方後円墳「船原古墳」についての説明をしたあと、体験活動を実施。

体験活動では、船原古墳１号土坑から出土した、鳳凰文心葉形杏葉の石こう模型作りと、石こう模型に絵具で着色する体験を行った。

最後に、歴史資料館展示室を見学して、船原古墳への理解につなげた。



「勾玉づくり」

勾玉の用途や種類などについて、土偶や埴輪、歴史資料館で展示をしている勾玉の写真を用いて説明をしたあと、体験活動を実施。

体験活動では、作り方の動画を視聴してから作業に移った。滑石をサンドペーパーで削り、仕上げ用のペーパーで磨いた後、職員が染料で着色をした。染料が乾くまでの時間を活用して、歴史資料館に展示されてる勾玉の見学を行った。



講座の様子

◆第３回　「縄文土器をつくろう」

開 催 日：令和７年９月 28 日(日)

会　　場：交流館　102 工芸室

講　　師：香川（かがわ）　義文（よしふみ）　氏（古賀市陶芸同好会代表）

参加者数：14 人



講座の様子

はじめに、縄文土器の種類や作り方についての説明を行った。

続いて、古賀市陶芸同好会代表の香川義文氏が焼き物について話され、体験活動に移った。

体験活動は、香川氏に指導していただき、長く伸ばした粘土を積み上げて作る「輪積み法」で土器作りを行った。原体を使って好きな文様を描き、オリジナルの土器を完成させた。

◆第４回　「古代食ってなあに？」
開 催 日：令和７年 11 月９日(日)
会　　場：交流館　101 調理室
参加者数：８人

縄文時代･弥生時代の人の食べものや入手方法についての説明をしたあと、体験活動を実施。
体験活動では、どんぐりの粉を使った「どんぐりクッキー」と、赤米・黒米・白米を混ぜあわせた「古代米おにぎり」を作った。クッキーが焼きあがるまでの間に、石器を使った「どんぐりの殻割り・すりつぶし体験」や「もみすり体験」、石包丁（レプリカ）を使った古代米の「穂刈り体験」を行った。


講座の様子

■れきし体験パスポート
歴史資料館に親しんでもらい、郷土の歴史を楽しみながら学んでもらうことを目標とする。学校長期休業中、小中学生を対象に実施。

◆夏休みれきし体験パスポート
期　　間：令和７年７月 19 日(土)～９月７日(日)
参加者数：321 人
内　　容：展示物・企画展に関するクイズラリー、昔のあそび

◆冬休みれきし体験パスポート
期　　間：令和７年 12 月 20 日(土)～令和８年１月 12 日(月・祝)
参加者数：54 人
内　　容：展示物に関するクイズラリー、昔のあそび

◆春休みれきし体験パスポート
期　　間：令和８年３月 20 日(金・祝)～４月５日(日)
参加者数：98 人
内　　容：展示物に関するクイズラリー、昔のあそび

■施設見学

歴史資料館では子どもたちの教育普及や一般向けの生涯学習の一環として、事前申込みで施設見学を受け入れている。館内は市内から発掘された出土品の展示や郷土の歴史の紹介、昔の暮らしを知ることができる古民具等を配置し、分かりやすい解説と展示を心がけて子どもたちの学びに力を入れている。

学校の教科学習見学では、学習のねらいやスケジュール等について、学校と事前に打ち合わせをして進めている。机上で学ぶより、実物を見ながら歴史資料館職員の説明を受けることで、日頃とは違う学びが提供できている。



展示見学の様子

Ⅲ　来館者数

令和７年度 開館日数及び来館者数

月	開館日数	来館者数
４月	25日	599人
５月	26日	416人
６月	24日	559人
７月	23日	717人
８月	27日	724人
９月	22日	455人
１０月	26日	606人
１１月	25日	595人
１２月	22日	739人
１月	21日	624人
２月	23日	870人
３月	24日	645人
合計	288日	7,549人
月平均	24日	629人
日平均		26人

※企画展準備・片付けのため、一部休館：7 月 15 日（火）～18 日（金）、9 月 9 日（火）、10 日（水）

【過去 3 年間の日平均来館者数】

年　度	日平均来館者数
令和 4 年度	21 人
令和 5 年度	30 人
令和 6 年度	32 人

Ⅳ　令和８年度　目標及び事業計画

■目標

（１）　郷土古賀の歴史を学習する「自然史・歴史講座」を開催し、講演会、施設見学及び史跡等に出向いての現地学習などを行い、参加者の自然史・歴史、郷土の偉人への興味を高めるとともに、古賀のよさを知ってもらう機会とする。

（２）　小中学生を対象に「子ども歴史講座」を実施し、体験や講義を通じて、大昔の人々の生活や郷土の文化財を学習する機会を提供する。

（３）　収蔵資料を活用した「昭和の道具」展を開催し、見るだけではなく、さわったり、使ってみたりする体験を通して、道具の移り変わりを実感してもらい、歴史に対する関心を高める機会とする。

（４）　市内にある身近な祈りの対象を取り上げ、文化財を身近に感じてもらうことで、ふるさと「古賀」への関心を高める。

（５）　市内外で開催されるイベントに出展、または参加し、分かりやすく郷土の歴史を発信する。

（６）　古文書、民具、昔の写真など郷土に関わる資料の収集を行うとともに、地域の高齢者から昔の生活の様子などの聞き取りを行い、それらの整理・保存に努める。

（７）　れきしのアルバム No.48 のデータを作成し、ホームページに掲載する。

（８）　「民俗資料室」「漂着物展示室」「考古学図書室」についての啓発を図るとともに、その活用を行う。

■事業計画

《自然史・歴史講座》

事業名・講師　等	開　催　日	内　　容　〔開催場所〕
第1回【講演会】 「漂着物と石井忠先生の思い出 ～さまざまなものを運ぶ海の流れの話～ 講師：道田　豊　氏（漂着物学会第三代会長）	5月31日(日)	「漂着物展示室」のオープン記念講演会 〔古賀東中学校体育館〕
第2回【現地学習】 （第26回市民ウォーキング）	11月21日(土)	歴史や文化財を見学しながら市内を歩く 〔古賀市内〕
第3回【現地学習】 「立花宗茂ゆかりの山城をめぐる」	3月5日（金）	立花宗茂ゆかりの山城をめぐる 〔新宮町・大宰府市・鳥栖市〕

《展示》

事　業　名	期　間	内　　容　〔開催場所〕
企画展 「“みて”“さわって”“かんじる”昭和の道具～昭和３０年代から５０年代を中心に～」	7月18日(土)～ 8月30日(日)	資料館が収蔵している「昭和の道具」を解説パネルとともに展示 〔歴史資料館ギャラリー〕
船原古墳パネル展 「古賀の宝　船原古墳の世界」	9月5日(土)～ 27日(日)	初心者向けの船原古墳紹介パネル展示 〔歴史資料館ギャラリー〕
特集展示 「戦争とくらし～兵士になる～」	12月1日(火)～ 13日(日)	戦争が人々の生活に与える影響を紹介 〔歴史資料館ギャラリー〕

《教育普及》

事業名・講師　等	開　催　日	内　　容　〔開催場所〕
第1回「杏葉づくり・勾玉づくり」	7月25日(土)	石こうで杏葉づくり、滑石で勾玉づくり 〔歴史資料館　中会議室〕
第2回「縄文土器をつくろう」 講師：香川 義文　氏（古賀市陶芸同好会代表）	9月26日(土)	縄文土器づくり 〔交流館　102工芸室〕
第3回「古賀の遺跡を探検しよう」	10月17日(土)	市内の遺跡をバスでめぐり、現地で見学 〔みあけ史跡公園→古賀グリーンパーク→船原古墳〕
第4回「古代食ってなあに？」	11月8日(日)	どんぐりクッキーづくり　など 〔交流館　101調理室〕

事　業　名	開催日・期間	内　　容　〔開催場所〕
夏休みれきし体験パスポート	7月18日(土)～ 8月30日(日)	歴史資料館展示物に関する「クイズ」や、けん玉、紙ずもうなどの「むかしのあそび」体験　など 〔歴史資料館展示室・ギャラリー〕
冬休みれきし体験パスポート	12月26日(土)～ 1月11日(月・祝)	
春休みれきし体験パスポート	3月20日(土)～ 4月11日(日)	

令和７年度　歴史資料館年間報告書

令和８年９月発行
〒811-3103　福岡県古賀市中央二丁目 13 番１号

古賀市立歴史資料館

TEL：092（944）6214
FAX：092（944）6215